



発行所 西蒲原郡 巻町中央公民館 編集人 北川 郡司 印刷所 北洋印刷株式会社

私はこう考える

よかつたこと わるかつたこと 今年の選挙

今年は選挙の当り年——二月十日の町長選挙を皮切りに、五月の参議院補選まで、その間衆議院、県知事、県議、町議、教育委員と、目まぐるしい程の選挙でした。今静かに、ふりかえつてみて、果して御感想はいかがでしょう。

- 一、最もよしと思つたこと
二、最も遺憾だつたこと

玉木 一二(巻)

一、なし
二、公明選挙をやらなかつたこと
感想 最も身近な選挙に噂だけに止まらず一部に選挙違反を出したことは情ないと思ふ

樋浦 ヲテ(巻)

一、婦人の棄権が少なかつたこと
二、まだ情実にとらわれすぎはしないでしょうか

感想 婦人にもいさ少し社会的知識の得られるような社会環境にするよう政治的措

磯沢 進(越前浜)

一、候補者の日常活動が選挙の結果として正しく評価されていること、云いかえれば選挙民の眼が肥いて来たことである。
二、自他共に容認している政界人が立候補する時、無所属を標榜していることは政党政治への逆行行為である

感想 買収懸念が頻りと報ぜられる、よくも人の良心を安く買ったものだし死つたものだ。誰の束縛も

小川 清作(松山)

うけず自由に投票できる社会を作ることが私達に与えられていると思ふし、そのための小さな努力を惜しんではならないと考える

感想 公民館活動による正しい政治教育の重要さを痛感いたします

三島 吉郎(巻)

一、町議選に於いてポス勢力を破り民主的勢力が進出したこと
二、依然として買収懸念が激烈を極め町民の意志が正しく反映

されなかつたこと
感想 反動的勢力は封建的な顔、力、金、酒などをもつて町民の意志をふみにじつてゐる。その結果、町から多数の選挙違反者を出している。しかしながら町会選挙には、労組を中心として農民、中小企業などの中から民主的な力が大きく伸び各地区で金や顔の候補者を破つて当選している。この力は今後町政を町民のための町政に改めアメリカの植民地となつてゐる日本の国の政治をあらため国民のた



めめ政治、つまり自由、平和、独立のため大きな力となつてゆくであろう。
岩崎 繁(松野尾)
一、トラツク上からの連呼のなかつたこと
二、買収事実のあつたらしいこと
感想 理想選挙にはまだ道遠しの感、主婦として最も希望したこととは候補者の政見発表をラジオで放送してほしいこと。また選挙公報を徹底させてほしいこと。町議、教委は政治力よりも人格者に立馬してほしいこと

斎藤辰三郎(角田)
一、老人ながら選挙一番乗りの熱心者と、かり出自動車の巡回したること
二、出稼ぎのため棄権者の多かつたこと(四月以後の選挙は困ります)

感想 町村選以外は一様に低調で候補者の氏名も知らぬ有様、公報は只家長のみが見て家人には話もせず、又夜食後でも家内の集りをして候補者良悪位の話をするべきだと考える。
竹内 敬吉(巻)
一、選挙回数が多かつたためか選挙民が投票に對し理解し心構えも出来、投票(代理投票も含む)等もスムーズに行われたこと
二、公明選挙をさげばれながら衆議院、町長選挙等に地元関係者から悪質な違反があり司直の裁をうけるにいたつたこと
感想 町全体の投票率からみて、選挙に對する意欲はさほど低下しておらないが、今回は二月から五月まで長期間にわたつて行われたため町長町議選等の身近なものを除いては少しだけ気味であり、最後の

の参議院補欠選のごときは低調であつたように思われる。
小出 寛治(松野尾)
一、若い人たちが選挙に目覚めてきたこと
二、ともかく選挙エロの効きだ
感想 衆議院はともかく地方の選挙におきまして人物本位にと選挙民が考へて来たことであると思ひます。

巻町議会

巻町議会は去る二十日に開かれ町長より助役承認について懇請があり協議の結果、前松野尾村長岩崎三男治氏を全員異議なく承認された。
なお収入役には現会計課長、前参閣収入役阿部清蔵氏に決定した

教育委員会

六月定例委員会は去る十日角田支所に於て開かれ越前小学校建築問題、社会教育委員等について審議した。
当日決定した社会教育委員は
鈴木三郎 樋浦直衛
石川静江 樋口弘雄
後藤光衛 田中高次
山添幸雄 堀 秀寛
篠沢 進の諸氏の外に西川町の分町地域より一名選出する予定。



目にも見えるもの
の損得は割合に気がつき反省するものである
がそれすらも馴れると感覚がまひしてくる事がある。
時間が大切であることは大抵誰でも意識、無意識に拘らず承知しているようであるが、實際生活の中では案外大切にされていないことが多い。
「三十分や一時間位遅くなるのは仕方がない」では積り積つて莫大な時間の霧消となる。失われた「時間」は永劫に吾々の手にはかえつて来ない。
「時間の空費は貧乏の絶頂である」とさえ言われている。
「雨おほき夏なりしかどをりをりの日照りのさまがおもひうかぶも」は斎藤茂吉の歌である。
時恰も入梅季の直前、これからうつと暑い天気が続き伝染病の発生し易い時季である。
昔からこういう生活はしてきたのだから大丈夫だと思つてゐると思わないうちに、衛生的な生活態度を持つようこころを省して、特にならうしては、どんなものであるか。

今年選挙反省

「まさしく選挙の多い年だね」とどなたかがつぶやいてい...

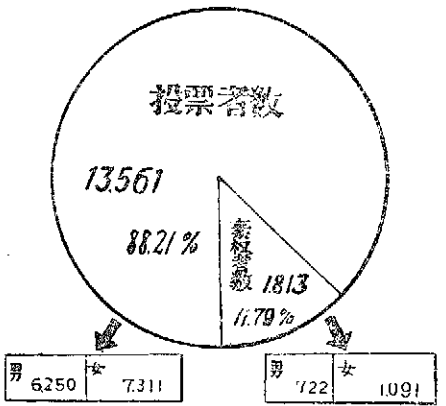
投票率八八、二二%

新生巻町の初代市長を決める町長選挙は一月三十一日告示、二月十日に施行された。

衆議院議員選挙

衆議院議員の総選挙は二月二十七日に施行された。新潟県第一区に於ては定員三名に對...

30.2.10 町長選挙

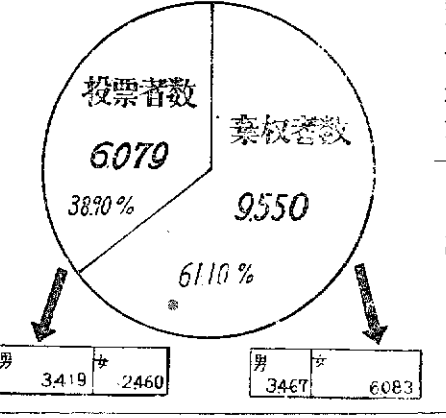


有効投票数 一三、四八五 無効投票数 一、七二七

参議院議員選挙

投票者数 六、〇七九 有効投票数 六、〇二一

30.5.15 参議院選挙



県知事選挙

県知事選挙県議会議員選挙は四月二十三日に施行された。

原知事選挙

原知事選挙結果 有効投票数 一、一五九 無効投票数 一、二五〇

巻町議会議員選挙

投票率 八二、二五% 有効投票数 一、五三九

松野尾地区

投票者数 一、八〇八 有効投票数 一、三九七

角田地区

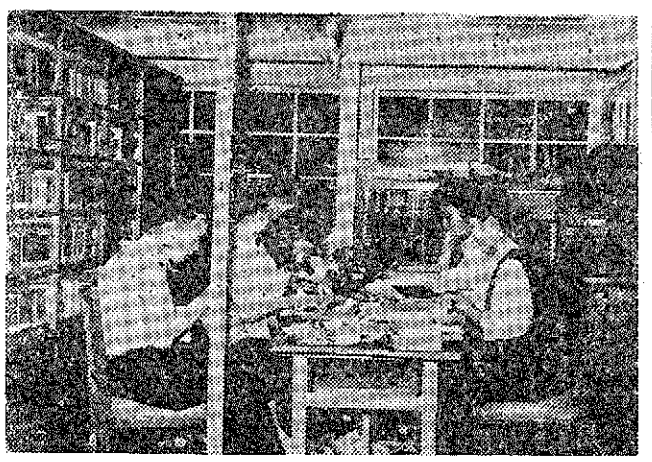
投票者数 一、八〇八 有効投票数 一、三九七

漆山地区

投票者数 一、八〇八 有効投票数 一、三九七

浦浜地区

投票者数 一、八〇八 有効投票数 一、三九七



盡きの愛情にささえられて

「この儘では図書室が衰微するばかりだ」「こゝで思いきつて整理をやらう」「やりきると自信があるか、二千五百から三千冊の本の整理だ、おそろしく始めれば毎晩休みなしに仕事をしても一ヶ月はかかるが」「結論は整理することに異論がないんだから一ヶ月位の苦勞は吾々の図書室に対する愛情いかんだけだ、一巻の横線である。問題は吾々の愛情だよ、の部員の熱意によ...

公民館を見学

社会科の授業として漆山小学校四年男女七十名の生徒はさる十一日森島、田辺両先生に引率され漆山公民館を見学した。

うね作り

今日、二時正晴うねを作りました。場所は図書館の裏だ。あたたかくて気持ちのよい日だ。くわを持ってきた。僕は佐藤君から借りた。僕と陶山君と協力して作った。一番初めは土を掘り、それから形をとって草をとった。くわで...

視察学習の紹介

少年鑑別所を訪ね、犯罪をおかした未成年者の心理や、犯罪の動機行動などについての実践やテストなどについて詳細な説明を聴き、ついて、県保連会に於...

わたくしたちの町

すみきつた朝の空の中にもオルゴールがなっている。今年一町五ヶ村が合併した。大巻町は海、山川、田畑があり、夏は海水浴、キャンピングもでき、秋はかえでに染められた山を...

巻婦人会

五月十六日会員五十名の参加で春の遠足を致しました。バスで松高岡城址を实地調査し、福井地内の古代遺跡をめぐり、昨年度冬期学習で得た知識を視察学習によつて深め得...



# 明るい豊かな生活環境を

## 漆山公民館の目標

館長 梨本 曾一朗

いまさら私が申上げるまでもなく公民館の使命は社会教育の全般を担っているので、非常に多岐多様でそのなすべきことは一般団体のごとく一定の限度がなく、幅も深さも全く無尽でありますことは御承知の通りであります。

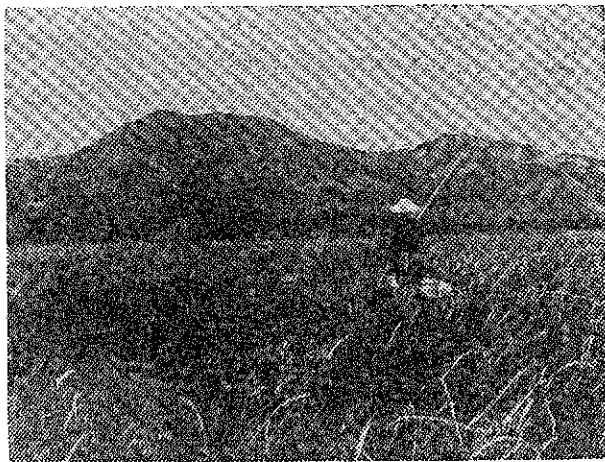
就任しましてから六カ月の間をいまかえりみますとき浅学の私がこの重責を果していられるかどうか更に疑問が生じてまいりますが幸い運営審議会という諮問機関がありたいへん心強く思っているわけでありませう。

また公民館の仕事はひとえに町民みなさまの御協力によつて計画された行事も事業も順調に遂行され、明るいゆたかな且つ平和な生活のできる町の建設がなされるものであり、事業や行事の計画についても微力ながら建設のために私の熱と力を尽してみたいと思つております。

私は当館の方針、目

途として次のようなこととがらを考えております。

- 一、公民館の最も重要な使命はと申しますとあくまでも独自の立場で地区住民から喜んで館を利用してもらうこと。
- 一、お互に導きあつて知識、教養、良識を除去に高め理想社会の殿堂を建てること。
- 一、とかくまだ一部ではありますが公民館の名称を聞きながえて高民館かのようにお考えのお方がいるかのようでありませうとき、あくまでも住民の中の館であらしめること。
- 一、明るい豊かな生活を願わない者は一人



もない筈なのであります。これは決して他人がやつてくれるのではなく万全の努力をその一人一人が力を結集して作り上げてはじめて明るい社会が自然の間にも生れてくるのであります。先ずいづつお互各自の経済知識の高揚が先決問題だと思ひます。総てがバランスのとれた生活様式を打ち立てるためには生活の改善は重要なことであると思ひます。それ故に生活改善(衣食住)を大きく取り上げてみたいと考へております。

### 素朴な五ヶ浜の民謡

「まき」四号の町の風土詩で紹介された、五ヶ浜の民謡、シンボについて関心が寄せられておりましたので、左の通り、歌詞を紹介いたします。

- 二、しんぼやあーれー こだいじが 虎の皮きせて 千里とべてはこうちとむりだ
- 三、しんぼやあーれー とちやいかつり かか毒消死 死れぬ死れぬで苦勞する
- 四、しんぼやあーれー うれし目出度や 思ふことかなうた 明日は出雲へお礼参り

と旋律をこの度県教育委員会主催、赤彦山陵周辺調査団によつて中央に紹介されることになり、来る二十一日テープコーダーに収録する予定。

### 原稿募集

町民の声 随筆・小品文 短歌・俳句・詩 その他 いづれも原稿用紙使用のこと 宛先 公民館 (選択は公民館にお委せ下さい)

### 早苗舟の通う 初夏の上堰湯

ゆたかな雪とけの水が、田圃の代掻水として、次第に落されてゆき、みづ／＼しい若芽をつき出していた真菰(地方名ガツポー。古名のカツミからカテミ糧食のの意味といわれている)が、茎の白肉は食べられるが、何時のまにか一面に発生し、風にそよいでいる。 一条の狭い舟路を、湯田植えの早苗舟がぎぎぎと通つてゆく。

真菰の中には、クロガモの可愛らしい鳴声にまじつて、イッチョの奇声が響く。ときどき水面に腹をひらひら見せる小鮎の群。点々と鮮やかな黄の花を浮べているアサザ、つづいてコウホネが水面をぬいて、つややかな梅鉢形の花を開く初夏、ヒシ、ウキクサ、ヒルムシロ等のとりどりの水生植物によつて、湯はすつかりとぎざざれ、これららの浮草類は、それぞれかすかな花をつけて、彼等の生を営んでいるが、こんな小さな世界に、人々は一寸気もつかないで終る。 かつてこの湯の特産であ



### 吊

- 大越喜三郎(老)
- 新田 五月一日
- 佐藤 トク(老)
- 四区 五月三日
- 頼所佐一郎(老)
- 一区 五月五日
- 田中崇太郎(老)
- 十二区 五月七日
- 丸山 トシ(老)
- 一区 五月八日
- 鈴木 マカ(老)
- 四ツ郷屋五月九日
- 池藤 サキ(老)
- 竹野町 五月十日
- 山下 ハツ(老)
- 越前浜五月十二日
- 加藤 寅一(老)
- 鴻頭 五月十二日
- 笹木 フキ(老)
- 七区 五月十二日
- 近嵐 正則(老)
- 新田 五月十三日
- 外山熊太郎(老)
- 馬堀 五月十七日
- 渡辺せつ子(老)
- 稲島 五月十八日
- 遠藤 リツ(老)
- 五区 五月二十日
- 川村 テノ(老)
- 舟戸 五月二十日
- 渡辺 ヒレ(老)
- 漆山 五月二十八日
- 斎藤 リツ(老)
- 十二区 五月二十九日
- 川村 寅一(老)
- 二区 五月三十日
- 堀内 テウ(老)
- 竹野町 五月三十日
- 堀内 チョ(老)
- 竹野町 五月三十日